

**製品名: PTP $\alpha$  (リン酸化 Tyr798) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05316**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	100 90kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PTPRA
別名	PTPRA; PTPA; PTPRL2; Receptor-type tyrosine-protein phosphatase alpha; Protein-tyrosine phosphatase alpha; R-PTP-alpha
遺伝子 ID	5786.0
SwissProt ID	P18433
免疫原	抗血清は、ヒト PTPRA の Tyr798 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 753-802

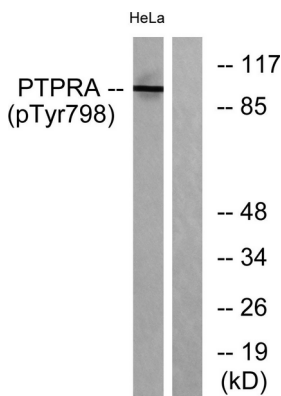
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質チロシンホスファターゼ (PTP) ファミリーのメンバーです。PTPは、細胞増殖、分化、有糸分裂周期、がん化など、様々な細胞プロセスを制御するシグナル伝達分子として知られています。この PTP は、細胞外ドメイン、単一の膜貫通セグメント、および 2 つのタンデムな細胞質内触媒ドメインを含み、受容体型 PTP を構成します。この PTP は、Src ファミリーチロシンキナーゼを脱リン酸化および活性化することが示されており、インテグリンシグナル伝達、細胞接着、および増殖の制御に関与しています。この遺伝子には、2 つの異なるアイソフォームをコードする 3 つの選択的スプライシングバリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸,類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属する。受容体クラス 4 サブファミリー。類似性: 2 つのチロシンタンパク質ホスファターゼドメインを含む。,

## 研究分野

-

## 画像データ



血清 20% 15% で処理した HeLa 細胞ライセートの PTPRA (リン酸化 Tyr798) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロックされている。